

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0240/300515/18/00	事業の種類	5	
年度	19	事務事業名	有害鳥獣防護柵設置事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	有害鳥獣防護柵設置事業		担当部課名	産業振興課		
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	農林漁業					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家				
	誰(何)を対象として	農家				
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿・猪等の獣害から農作物を守るため、防護ネット等の配布や、相生猟友会に依頼し、駆除を行う。				

2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	有害鳥獣駆除	回/年	3	3	3	3
	防護柵設置	km	6	0	7	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.000	0.000	-	0.085	#####	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.000	0.000	-	0.600	#####	0.800	133.3	
	臨時職員			-	0.010	#####		-	
支出内訳	人件費	0	0	-	5,985,603	#####	7,587,172	126.8	
	事業費	0	0	-	7,838,754	#####	1,281,000	16.3	
	合計	0	0	-	13,824,357	#####	8,868,172	64.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	0	0	-	4,342,500	#####	151,500	3.5	
	市債			-		-		-	
	その他			-	1,678,500	#####		-	
	一般財源	0	0	-	7,803,357	#####	8,716,672	111.7	
合計	0	0	-	13,824,357	#####	8,868,172	64.1		

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
頭	目標	50	50	100.0	50	100.0	70	140.0	
	実績	64	70	109.4	91	130.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

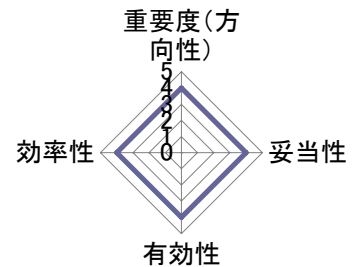
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	鹿・猪等野生動物から農作物等を守る施策は防護柵等の設置は必要な事である。	4	4
	市の関与の妥当性	農産物のみならず、市街地にも出没する猪・鹿等が増えている現状では、の駆除活動及び防御対策は市がすべき事である。		
有効性	成果の向上	鹿・猪等野生動物による農作物等の被害はなかなか減少しないばかりか、出没回数も異常に増えている現状においては、現在の対策がなければ被害を食い止めることはできなかった。	4	4
	市民サービス	猟友会における駆除活動は、年々捕獲頭数も増え、ある程度市民の要望に答えられている。		
効率性	コストの節減	県事業による防護柵設置事業等において、費用の一部を負担し、集落自ら柵の設置を行うなどコストの節減に努めている。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	兵庫県下において、年々鹿・猪等出没が異常に増えている現状の中、各自自治体単独の防護柵等の防御策及び猟友会による駆除活動だけでは不十分であり、広域的に考える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	平成20年度より、西播磨県民局管内の市町村が県の音頭の下、広域的な対策を検討している最中である。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

--

検討の有無	—
総合指標	22

(3) 21年度以降の改革改善内容